

情報公開文書

研究課題名	SARS-CoV2 ワクチン接種後に生じたリウマチ性疾患についての全国調査
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：九州大学病院別府病院)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>内科</u> 氏名 <u>堀内 孝彦</u> 当 院 所属 <u>膠原病リウマチ内科</u> 氏名 <u>石井 亘</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ~ 2023年12月
研究の概要	<p>(本研究の意義・目的)</p> <p>新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行に伴い、初めてメッセンジャーRNA ワクチンという新しい種類のワクチンが実用化されました。従来のワクチン (インフルエンザワクチンなど) を接種した後にリウマチ性疾患、すなわち免疫の異常によっておこる病気を発症する人が極稀にいたことが報告されています。新しいワクチンについては未知数ですが、欧米からはメッセンジャーRNA ワクチンを接種した後にリウマチ性疾患を発症したという例が少数ながら報告されています。</p> <p>日本で同様のことがどのくらいの方に起こっているのか、通常のリウマチ性疾患と症状や経過が異なるかについては全くわかっていない状況です。そこで今回、九州大学病院別府病院内科では全国の日本リウマチ学会教育施設に対し、新型コロナウイルス (SARS-CoV2) に対するワクチン (以下コロナワクチン) 接種後に発症したリウマチ性疾患の患者様の実態を調査するべく、本研究を計画しました。</p> <p>(研究方法)</p> <p>この研究を行う際は、カルテより下記の情報を取得します。取得した情報を分析し、コロナワクチンのリウマチ性疾患の発症に対する影響を明らかにします。</p>
試料・情報	年齢、性別、身長、体重、リウマチ性疾患の既往歴、ワクチンの種類、リウマチ性疾患の発症時期、リウマチ性疾患の診断名、国際的診断基準を満たしていたかどうか、重症度はどの程度か、治療内容 (ステロイド、免疫抑制剤の使用の有無や量)、3 回目コロナワクチン接種時の状況 (リウマチ性疾患が増悪したか、接種時に治療継続していたか)、その他主治医が経過において重要と認めた内容 (既往歴、家族歴など)
研究対象者	2021 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日の期間に当院を受診された方のうち、コロナワクチン 1 回目または 2 回目接種後 28 日以内にリウマチ性疾患を発症したと診断された方 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先	<p data-bbox="480 85 730 118">〒380-8582</p> <p data-bbox="480 132 932 165">長野県長野市若里五丁目22番1号</p> <p data-bbox="480 179 679 212">長野赤十字病院</p> <p data-bbox="480 226 1182 259">所属 <u>膠原病リウマチ内科</u> 氏名 <u>石井 亘</u></p> <p data-bbox="480 273 1171 306">TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>
---------	--